

「アラハタ」ということばを、ご存じですか？

先日、新聞 TV 欄で「青春集合！アラハタのすべて」というタイトルが目についたが、最近の若者ことばのカタカナ表記の新造語には追いつけて行けない。

ネットで検索してみると、「これから大人の仲間入りをする 18 歳～ 22 歳を“アラハタ (Around ハタチ)”」と呼称するとか。

アラハタの心を覗くことができるかなと、ライブでネット掲示板へのアラハタからの書き込みを紹介する番組を見た。

確かに、アラハタの時期は、就職を目の前にすると選択肢が多いだけに、夢、不安、等々で気持ちの揺れ幅は大きいと思うし、自分もそうであった。

かなり以前に聞いたことだが、3 才前後に第一反抗期、思春期でもあり多感な 15 才前後に第二反抗期、20 前後に第三反抗期があるという。

反抗期を言い換えれば、第一反抗期は親（主に母親）からの精神的な巣立ちであり、第二反抗期は家族からの精神的な巣立ちであり、第三反抗期は精神的にも社会人として、また、経済的にも巣立ちの時期（就職）とも云える。

第一、二期と異なり、特に、第三期は社会人として具体的にどこでどう生活の糧を得るか、引いてはどのような生き方を自らの責任で選択するかということから、不安、戸惑いが多く、アラハタの個人、個人としては、側からの想像以上の葛藤を伴うもの。

だが、選択肢も多いことから、夢、あこがれへのチャレンジで心躍る時期とも云える。

それだけに、意に添わせるのでなく、自尊心を尊重しつつ選択肢への適切なヒントを真摯に授ける大人（両親を含め）の存在が大事な気がする。

さて、以前に当 HP の「感情を潜在化せざるを得ない時代の到来？？？（HP「雑学 BN」の書籍等読後感関係（IV）2007.09.17.：参照）」の記事で触れたが、「IT 等を含め時事刻々変化する現代社会への個の感覚のズレからの疎外・孤独感」から暴走老人にならないように、若者ことば、カタカナ表記について行けるように大いにアンテナを張らなくっちゃあ～！！